

概 要

1 福井県総人口 778,329 人（平成 29 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、平成 29 年 10 月 1 日現在 778,329 人となり、平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までの 1 年間に 3,903 人減少した。

全国総人口は 12,672 万人（総務省「人口推計」平成 29 年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.61% である。また、本県の面積は 4,190.51 k m²（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」29 年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 k m² 当たり 185.7 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、平成 29 年は前年と比べ△0.50%と、18 年連続の減少となっている。

図 1 総人口・人口増減率の推移（昭和 30 年～平成 29 年）

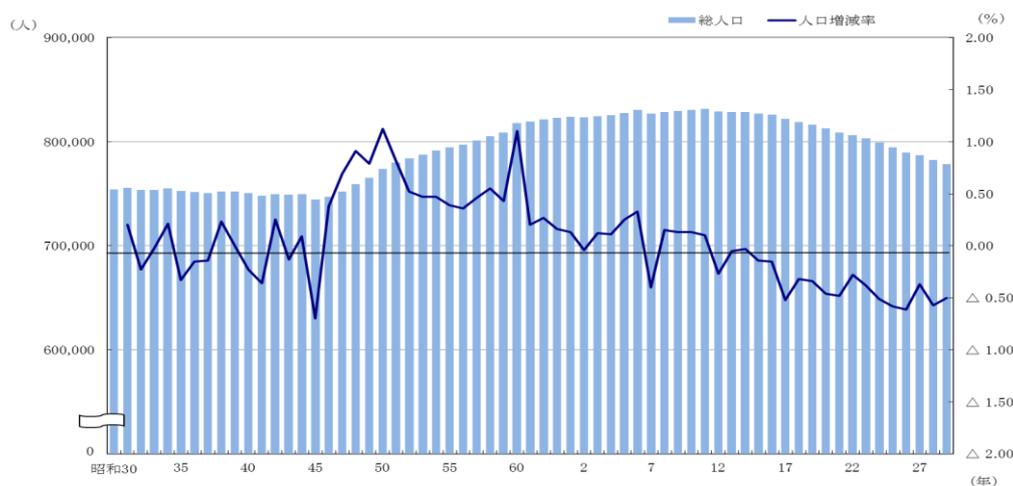


表 1 人口の推移（平成元年～平成 29 年）

（単位：人、％）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	・・・
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,448
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986

【※は国勢調査年】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

(1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は5,978人となり、前年と比べ147人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は9,446人となり、前年に比べ408人の増加となった。増加傾向が続いている。この結果、自然増減数は3,468人の減少となり、平成16年以降14年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和25年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成13年以降社会減少が続いているが、平成26年以降は社会減少数が小さくなっている。平成29年の県外転入者は13,192人、県外転出者は13,627人となっており、この結果435人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは石川県の1,101人であり、次いで大阪府1,094人、愛知県949人となっている。また、県外転出で最も多いのは東京都の1,377人であり、次いで石川県1,337人、愛知県1,287人となっている。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～平成29年）

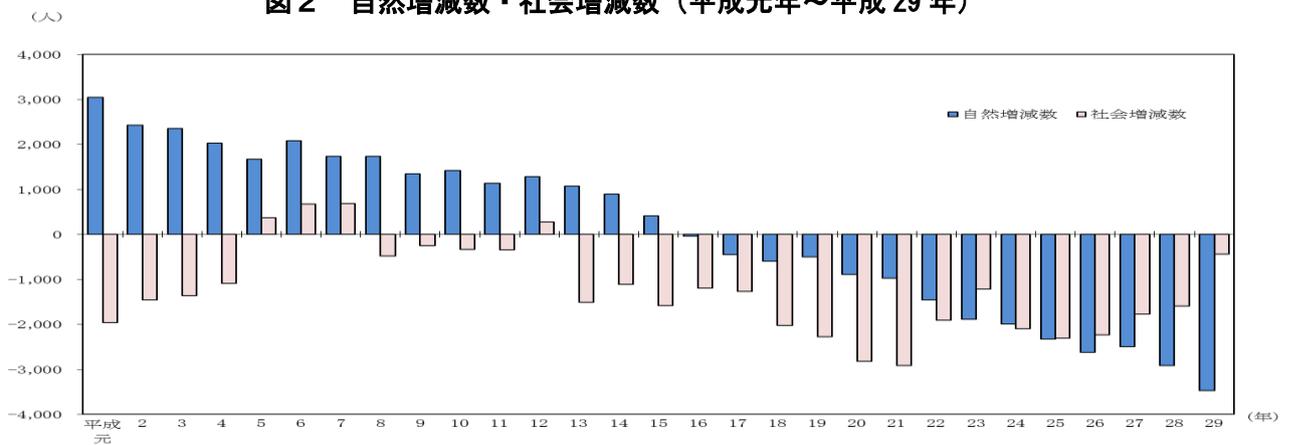


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～平成29年）

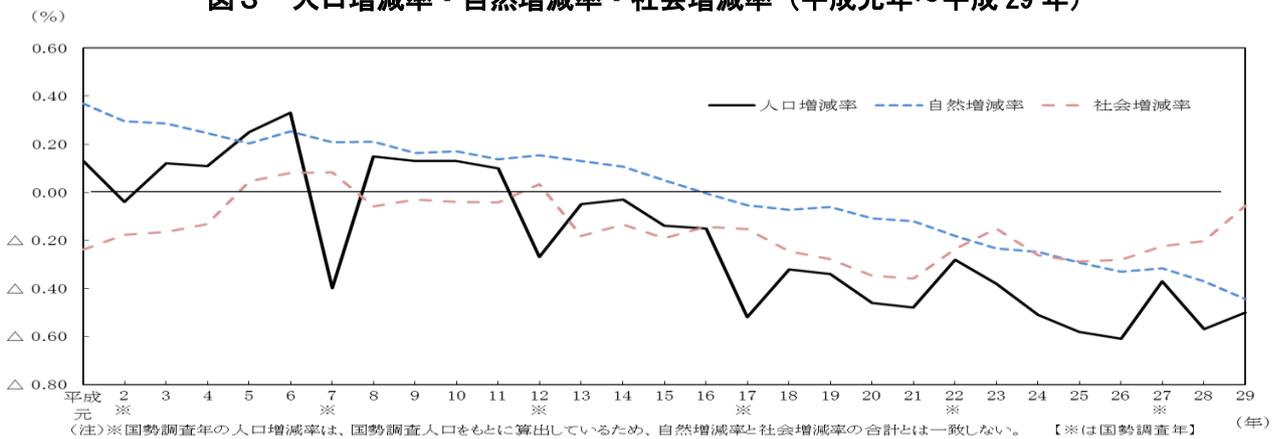


図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～平成29年）

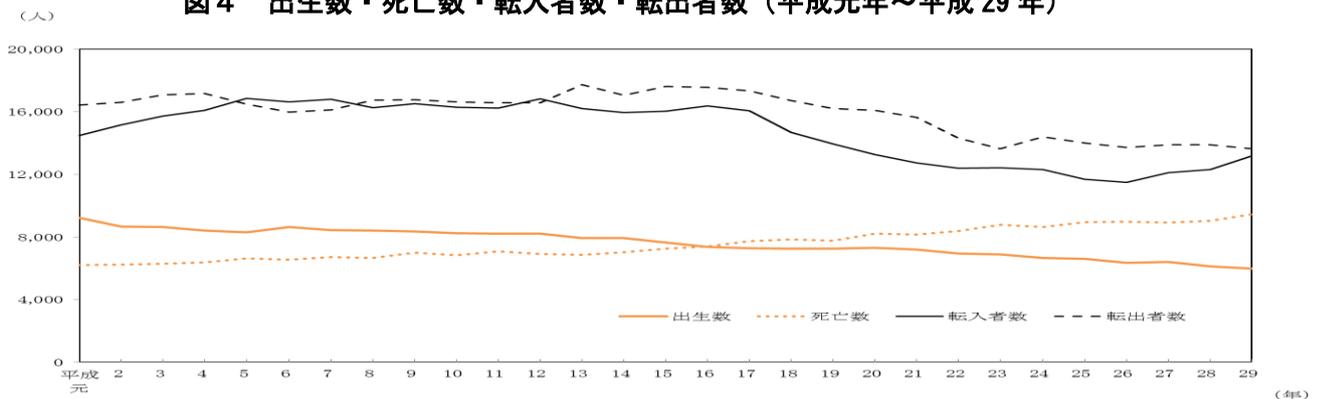


図5 総人口の推移（平成28年10月～平成29年10月）

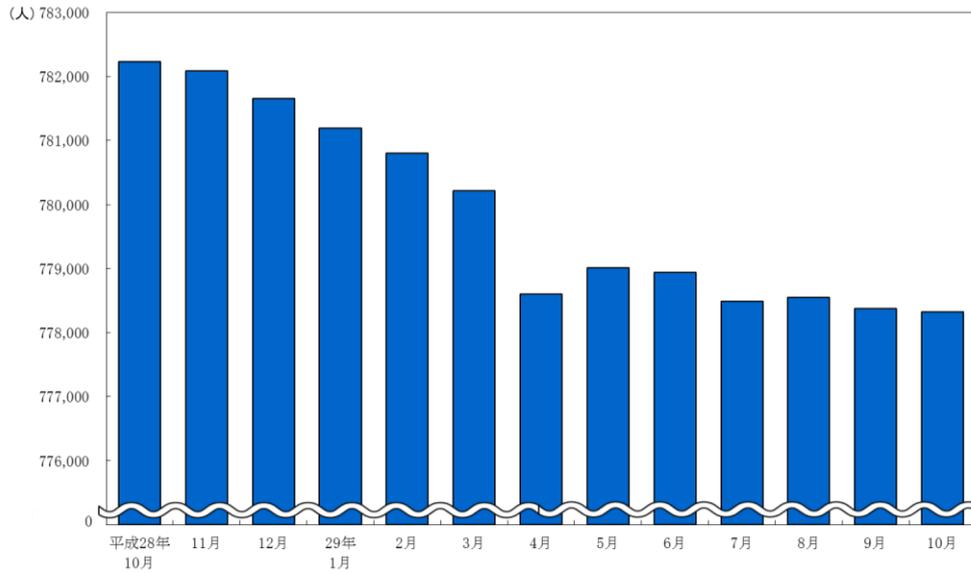


図6 自然増減数・社会増減数（平成28年10月～平成29年9月）

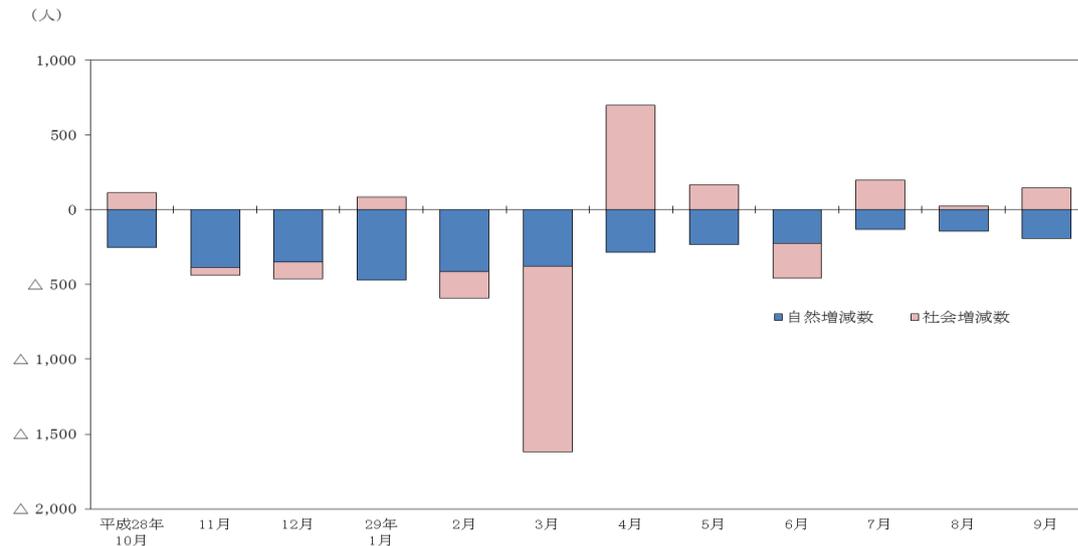


表2 月別人口・移動者数（平成28年10月～平成29年10月）

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
平成28年10月	782,232	△ 141	△ 253	535	788	112	906	794
11月	782,091	△ 438	△ 386	472	858	△ 52	685	737
12月	781,653	△ 461	△ 348	492	840	△ 113	680	793
平成29年1月	781,192	△ 385	△ 471	519	990	86	750	664
2月	780,807	△ 592	△ 414	454	868	△ 178	773	951
3月	780,215	△ 1,617	△ 377	493	870	△ 1,240	2,453	3,693
4月	778,598	414	△ 285	460	745	699	2,019	1,320
5月	779,012	△ 69	△ 235	508	743	166	1,022	856
6月	778,943	△ 458	△ 225	493	718	△ 233	774	1,007
7月	778,485	65	△ 134	514	648	199	1,031	832
8月	778,550	△ 171	△ 146	540	686	△ 25	1,035	1,060
9月	778,379	△ 50	△ 194	498	692	144	1,064	920
10月	778,329	-	-	-	-	-	-	-
総数		△ 3,903	△ 3,468	5,978	9,446	△ 435	13,192	13,627

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（平成28年10月～平成29年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	5,978	3,067	2,911	14	10	4	774	392	382	703	356	347
5～9	—	—	—	3	2	1	379	192	187	348	180	168
10～14	—	—	—	6	1	5	208	105	103	182	98	84
15～19	—	—	—	5	3	2	768	391	377	903	508	395
20～24	—	—	—	12	8	4	2,614	1,495	1,119	3,299	1,709	1,590
25～29	—	—	—	14	8	6	2,641	1,344	1,297	2,509	1,288	1,221
30～34	—	—	—	19	8	11	1,831	938	893	1,727	853	874
35～39	—	—	—	26	10	10	1,150	600	550	1,129	583	546
40～44	—	—	—	37	17	20	892	527	365	879	492	387
45～49	—	—	—	60	37	23	629	414	215	567	355	212
50～54	—	—	—	90	60	30	431	304	127	421	279	142
55～59	—	—	—	154	105	49	308	221	87	261	174	87
60～64	—	—	—	271	176	95	206	139	67	201	146	55
65～69	—	—	—	575	409	166	147	102	45	152	95	57
70～74	—	—	—	589	407	182	76	40	36	96	44	52
75～79	—	—	—	898	569	329	44	18	26	78	34	44
80～84	—	—	—	1,625	917	708	46	14	32	86	32	54
85～89	—	—	—	2,076	1,055	1,021	30	6	24	48	11	37
90以上	—	—	—	2,972	932	2,040	18	2	16	38	7	31
総数	5,978	3,067	2,911	9,446	4,740	4,706	13,192	7,244	5,948	13,627	7,244	6,383

図7-1 5歳階級別県外転入者数

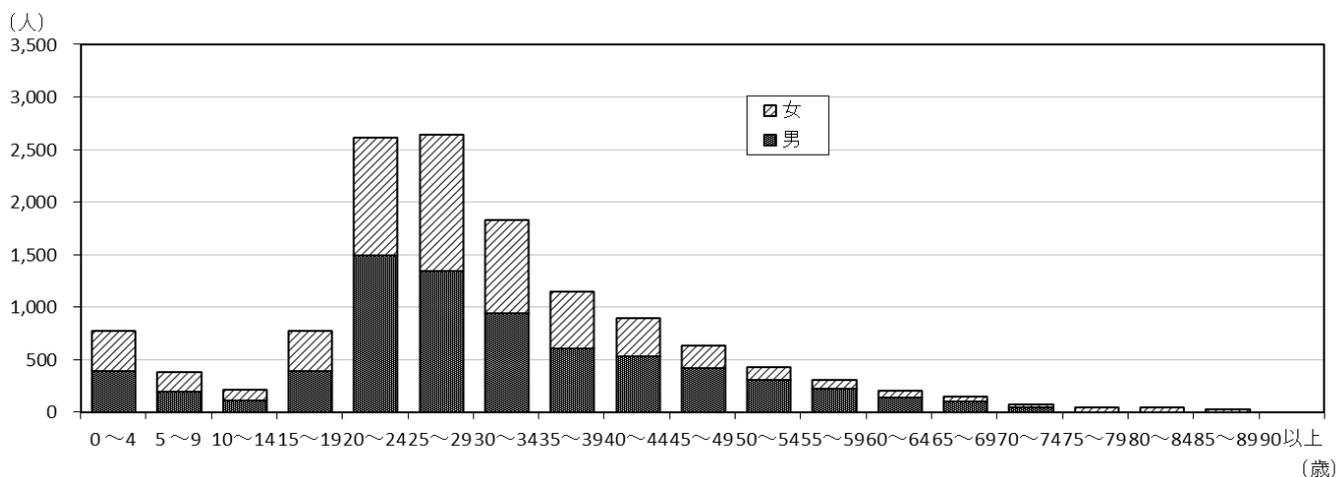


図7-2 5歳階級別県外転出者数

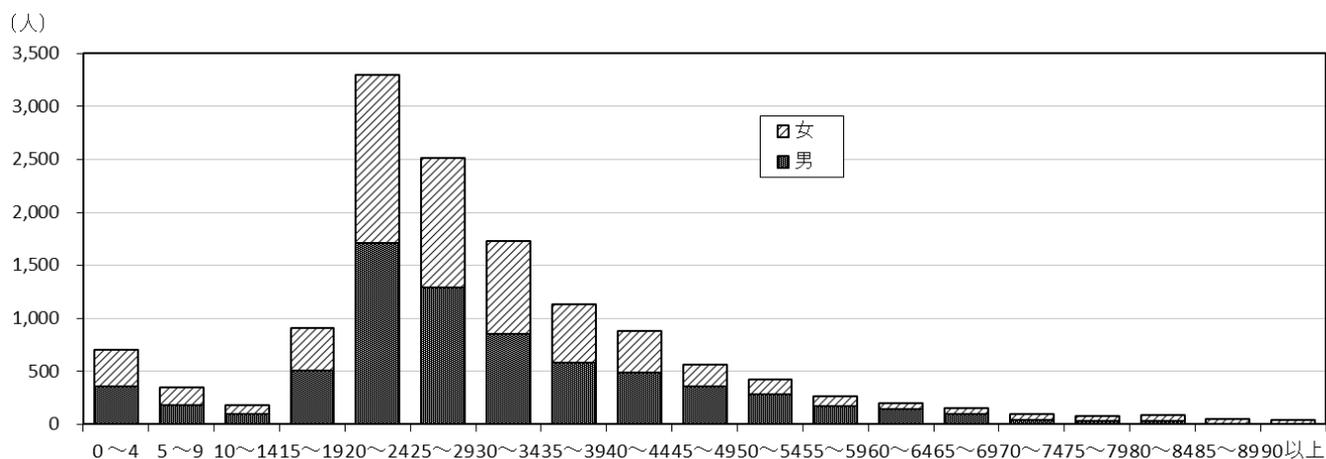
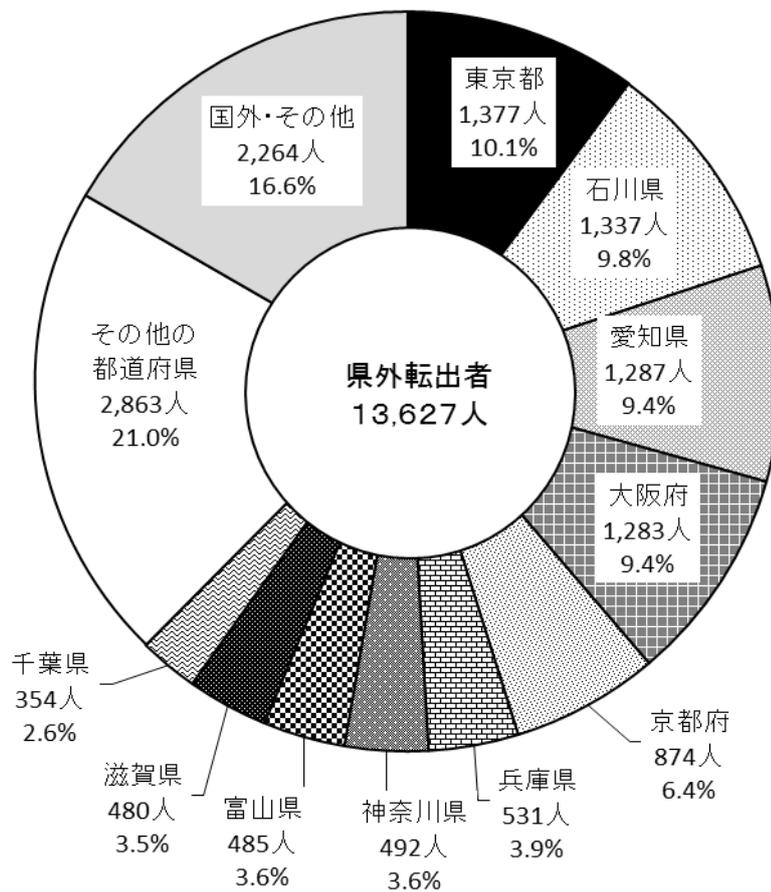
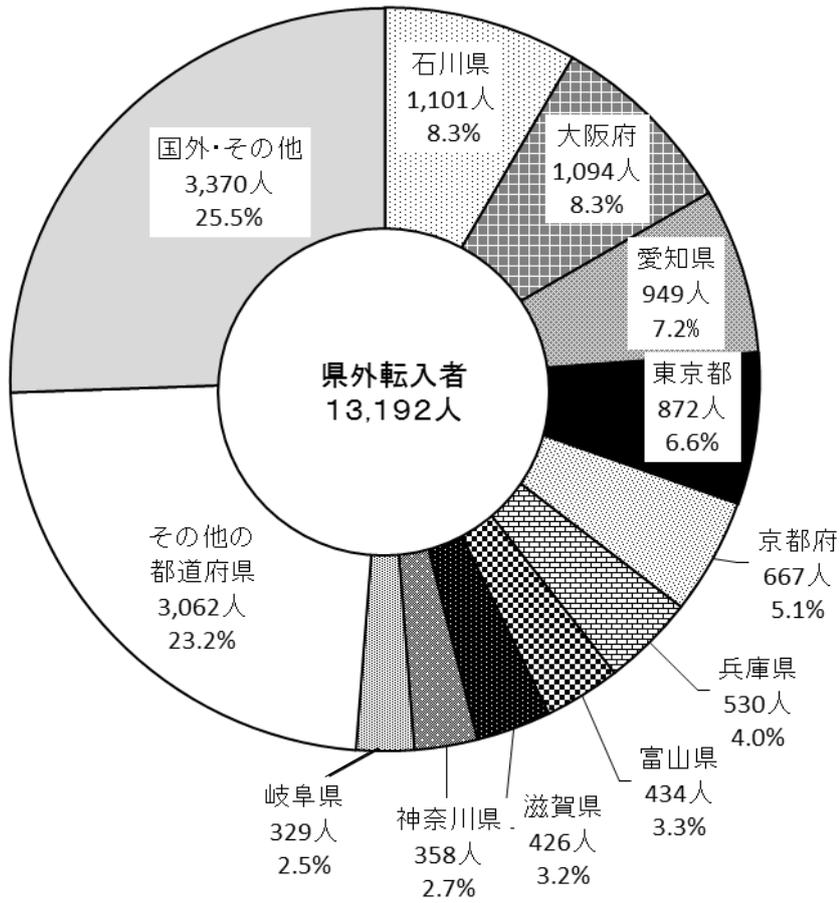


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、65～69歳が64,693人と最も多く、次いで40～44歳53,287人、45～49歳52,087人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現68～70歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現43～46歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は64～69歳と40～46歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が377,757人、女性が400,572人であり、女性が男性より22,815人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.3となっている。

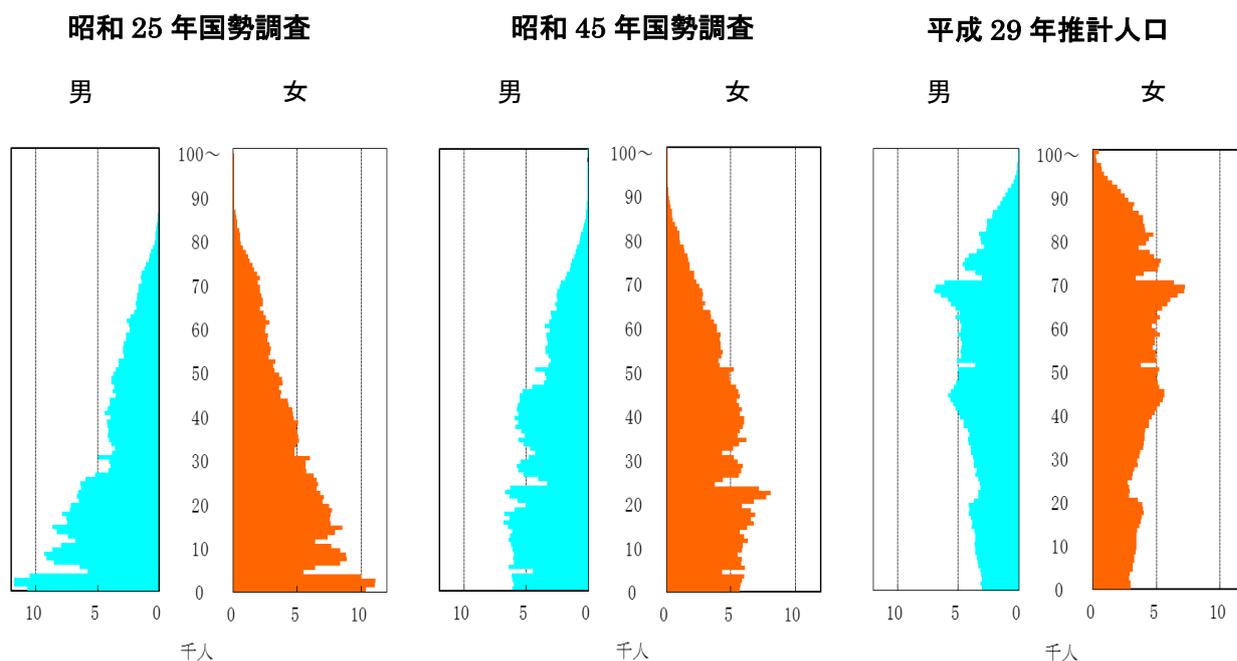
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比
0～4	30,277	15,495	14,782	104.8
5～9	33,732	17,305	16,427	105.3
10～14	35,796	18,393	17,403	105.7
15～19	39,501	20,148	19,353	104.1
20～24	31,607	16,774	14,833	113.1
25～29	34,280	17,798	16,482	108.0
30～34	39,335	20,001	19,334	103.4
35～39	43,818	22,212	21,606	102.8
40～44	53,287	27,039	26,248	103.0
45～49	52,087	26,116	25,971	100.6
50～54	47,190	23,253	23,937	97.1
55～59	48,596	24,033	24,563	97.8
60～64	50,195	24,877	25,318	98.3
65～69	64,693	31,684	33,009	96.0
70～74	45,881	21,836	24,045	90.8
75～79	40,333	18,026	22,307	80.8
80～84	35,683	14,413	21,270	67.8
85～89	25,591	8,922	16,669	53.5
90～	16,510	3,997	12,513	31.9
合計	778,329	377,757	400,572	94.3

(注)年齢不詳 男女計9,937人、男5,435人、女4,502人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、平成29年の年少人口（0～14歳）は99,805人（13.0%）で、前年に比べて0.1ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は439,896人（57.2%）であり、前年と比べて0.4ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は228,691人（29.8%）であり、前年と比べて0.5ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は229.1となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～平成29年）

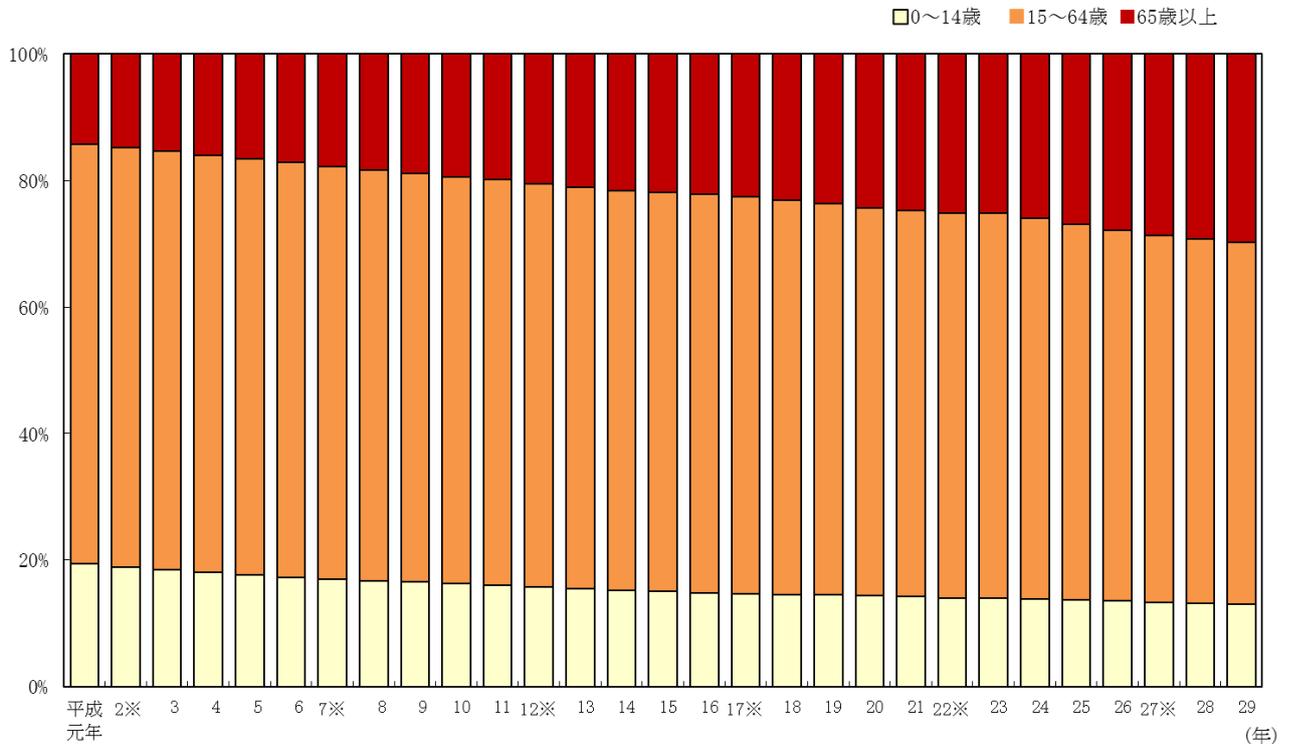


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～平成29年）

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

【※は国勢調査年】

3 世帯数 284,100世帯（平成29年10月1日現在）

福井県の総世帯数は284,100世帯であり、前年と比べ2,488世帯(0.88%)増加した。また、1世帯当たり人員は2.74人であり、前年と比べ0.04人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図11 世帯数の推移（平成元年～平成29年）

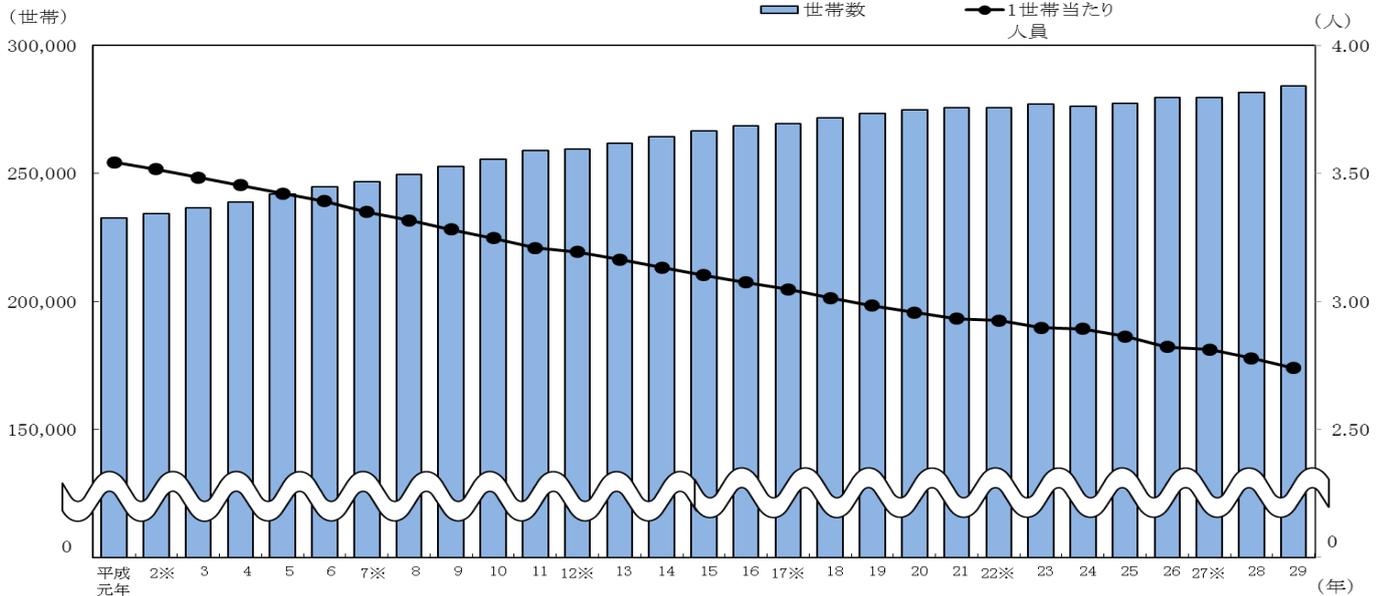


表6 世帯数の推移（平成元年～平成29年）

(単位:世帯、人、%)

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74

【※は国勢調査年】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 264,520 人であり、県全体の 34.0%を占める。次いで坂井市 89,755 人、越前市 80,988 人となっている。

(1) 人口増減

人口が増加したのは越前市および鯖江市であり、他の 15 市町は昨年に比べ人口が減少した。

人口増減率は、越前市が 0.15%と最も高く、次いで鯖江市 0.09%、坂井市△0.26%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△2.69%であり、次いで越前町△1.93%、若狭町△1.60%となっている。

広域圏単位で見ると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の△1.50%であり、次いで嶺南△0.86%となっている。

表 7 地区・市町別人口および増減率

	人口	増減数	増減率
県 計	778,329	△ 3,903	△ 0.50
福井地区	283,983	△ 964	△ 0.34
福 井 市	264,520	△ 726	△ 0.27
永平寺町	19,463	△ 238	△ 1.21
坂井地区	117,914	△ 460	△ 0.39
あわら市	28,159	△ 230	△ 0.81
坂 井 市	89,755	△ 230	△ 0.26
奥越地区	55,595	△ 847	△ 1.50
大 野 市	32,225	△ 472	△ 1.44
勝 山 市	23,370	△ 375	△ 1.58
丹南地区	183,336	△ 444	△ 0.24
鯖 江 市	68,494	60	0.09
越 前 市	80,988	124	0.15
池 田 町	2,492	△ 69	△ 2.69
南越前町	10,491	△ 148	△ 1.39
越 前 町	20,871	△ 411	△ 1.93
嶺南地区	137,501	△ 1,188	△ 0.86
敦 賀 市	65,422	△ 354	△ 0.54
小 浜 市	29,116	△ 301	△ 1.02
美 浜 町	9,610	△ 149	△ 1.53
高 浜 町	10,442	△ 78	△ 0.74
おおい町	8,131	△ 65	△ 0.79
若 狭 町	14,780	△ 241	△ 1.60

図 1 2 市町別人口増減率（その 1）

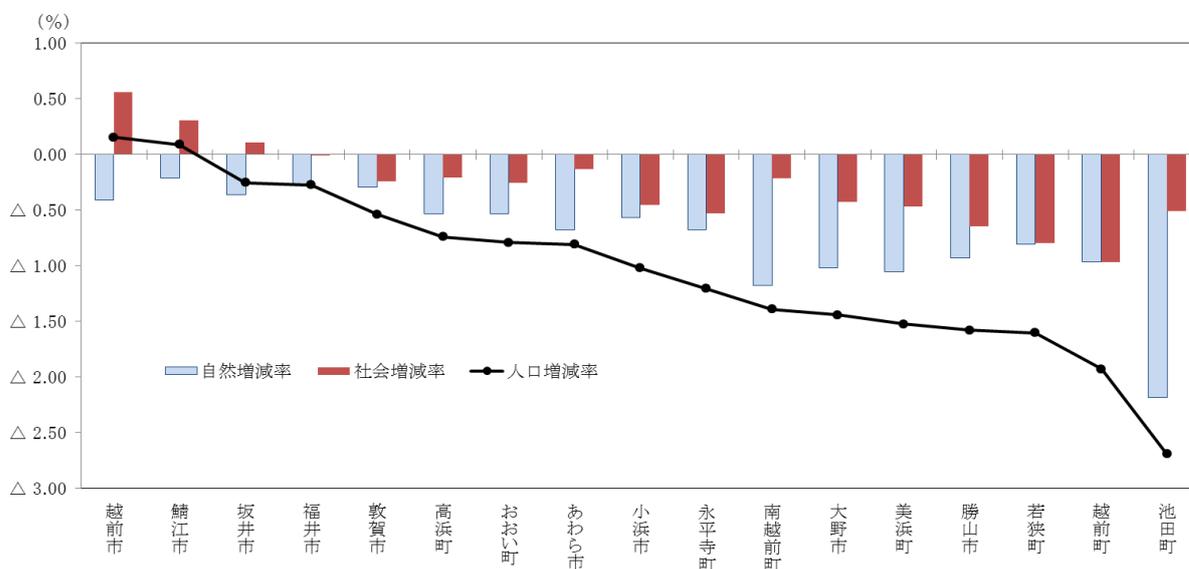
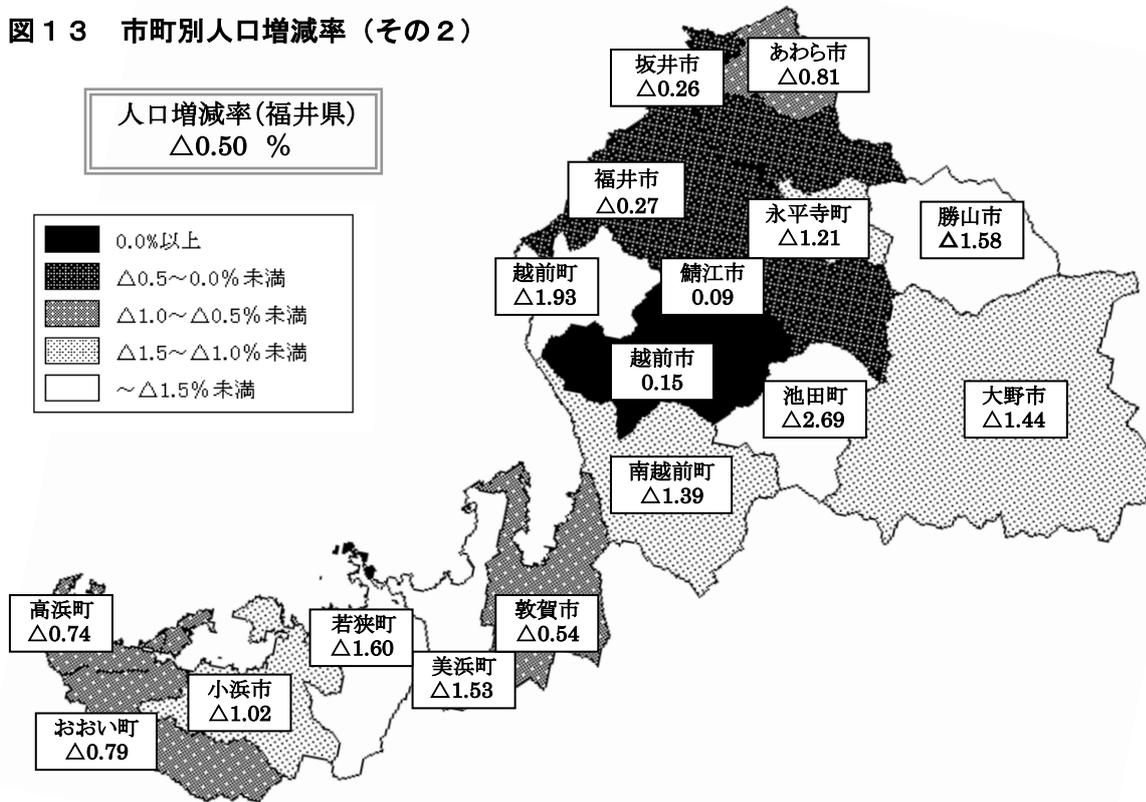


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）



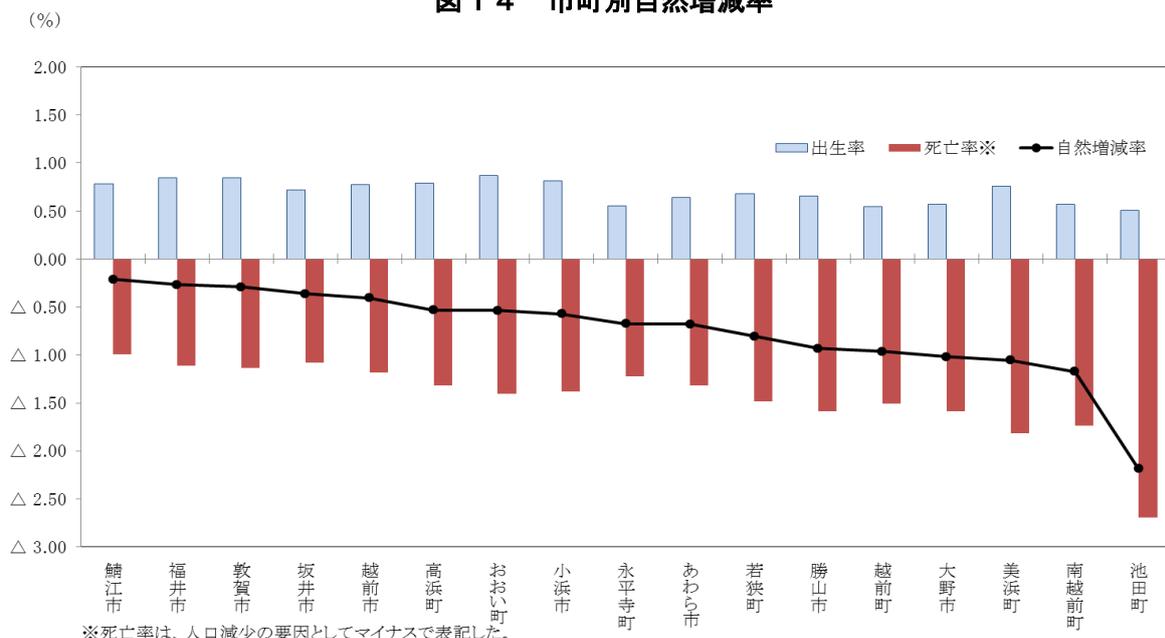
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の△0.21%であり、次いで福井市△0.27%、敦賀市△0.29%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△2.19%であり、次いで南越前町△1.17%、美浜町△1.06%となっている。

出生率は、おおい町が 0.87%と最も高く、次いで敦賀市 0.84%、福井市 0.84%となっている。最も低いのは池田町の 0.51%であり、次いで越前町 0.54%、永平寺町 0.55%となっている。

死亡率は、池田町が 2.69%と最も高く、次いで美浜町 1.81%、南越前町 1.74%となっている。最も低いのは鯖江市の 1.00%であり、次いで坂井市 1.08%、福井市 1.11%となっている。

図 1 4 市町別自然増減率



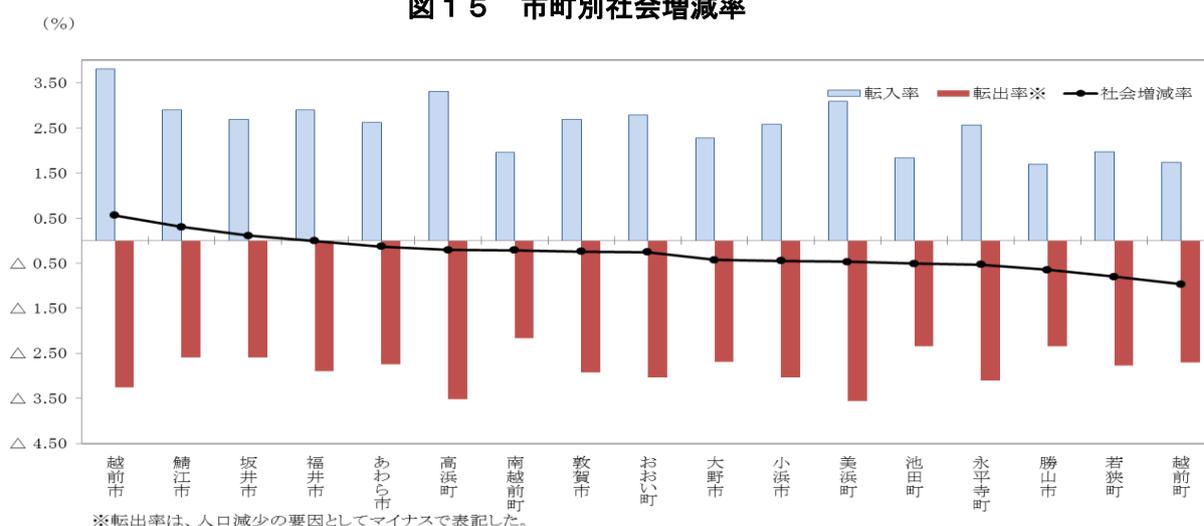
(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは3市のみであり、越前市が0.56%、次いで鯖江市0.30%、坂井市0.11%となった。他の14市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは越前町の△0.97%であり、次いで若狭町△0.80%、勝山市△0.65%となった。

転入率は、越前市が3.81%と最も高く、次いで高浜町3.31%、美浜町3.09%となっている。最も低いのは勝山市の1.70%であり、次いで越前町1.74%、池田町1.84%となっている。

転出率は、美浜町が3.57%と最も高く、次いで高浜町3.52%、越前市3.25%となっている。最も低いのは南越前町の2.17%であり、次いで池田町2.34%、勝山市2.35%となっている。

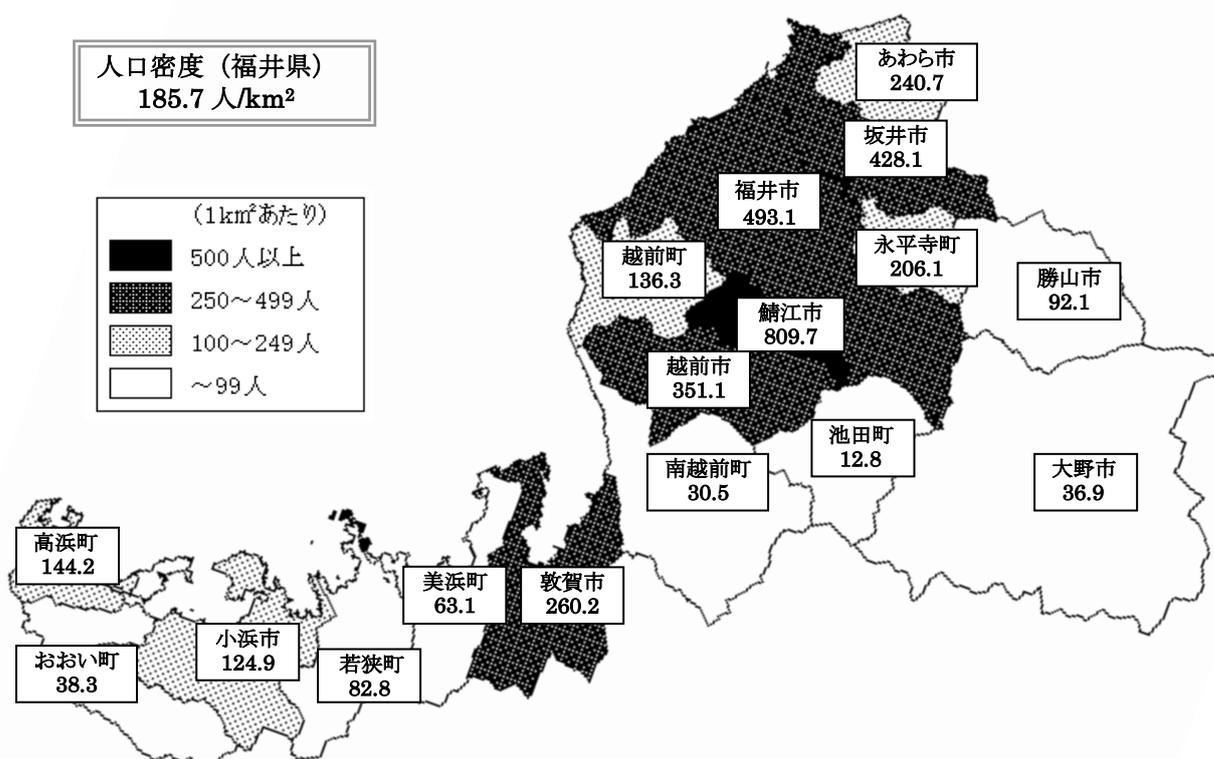
図15 市町別社会増減率



(4) 人口密度

面積1k㎡当たりの人口密度は、鯖江市が809.7人であり最も高く、次いで福井市493.1人、坂井市428.1人となっている。最も低いのは池田町の12.8人であり、次いで南越前町30.5人、大野市36.9人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の14.6%であり、次いでおおい町13.9%、坂井市13.8%となっている。最も低いのは池田町の7.9%であり、次いで美浜町10.8%、大野市11.3%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは永平寺町の59.5%であり、次いで坂井市58.7%、敦賀市58.6%となっている。最も低いのは池田町の48.5%であり、次いで若狭町52.2%、南越前町52.7%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の43.6%であり、次いで勝山市35.6%、大野市35.5%となっている。最も低いのは鯖江市の27.1%であり、次いで坂井市27.5%、敦賀市27.9%となっている。

老年化指数（年少人口に対する老年人口の比率）が最も高いのは池田町の548.5であり、次いで美浜町321.8、大野市315.4となっている。最も低いのは鯖江市の185.9であり、次いで坂井市199.7、敦賀市205.7となっている。

図17 市町別年齢別（3区分）人口の割合

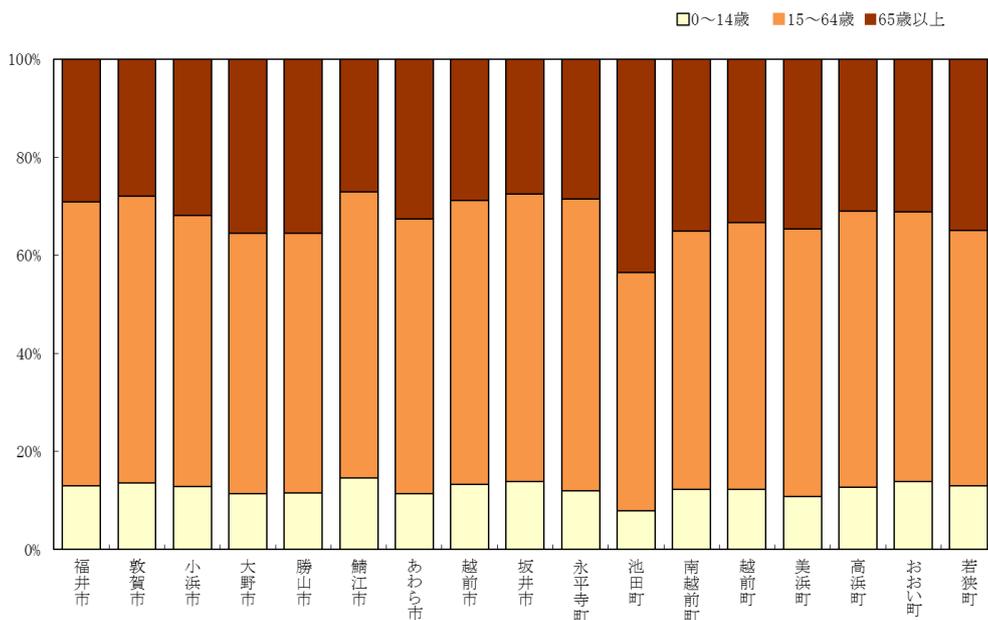
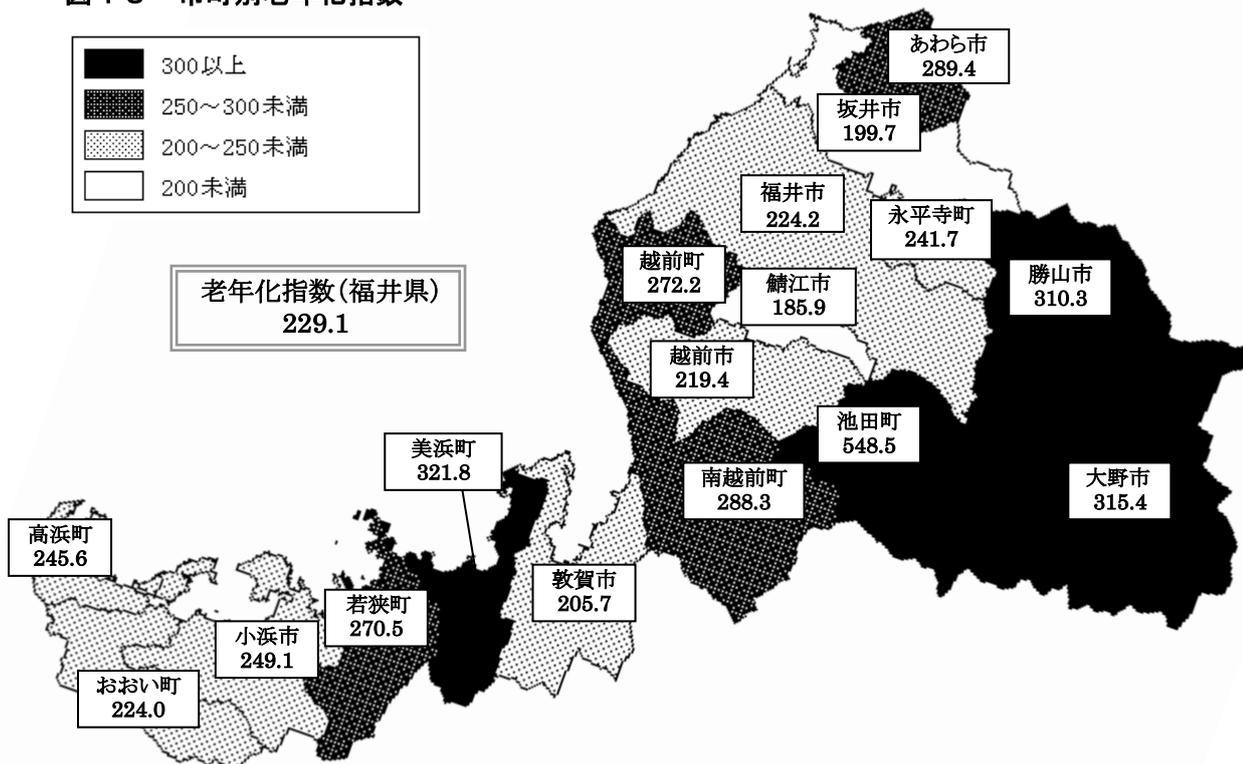


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の 101,983 世帯であり、県全体の 35.9%を占めている。次いで坂井市 30,031 世帯、越前市 28,590 世帯となっている。

増減率は、越前市が 2.23%と最も高く、次いで鯖江市 1.65%、福井市 1.04%となっている。最も低いのは、池田町の△1.58%であり、次いで若狭町△0.87%、南越前町△0.60%となっている。

1 世帯あたり人員が最も多いのは、越前町の 3.21 人であり、次いで南越前町 3.14 人、若狭町 3.07 人となっている。最も少ないのは、敦賀市の 2.44 人であり、次いで高浜町 2.46 人、美浜町 2.49 人となっている。

表 8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県 計	284,100	2,488	0.88
福 井 市	101,983	1,053	1.04
敦 賀 市	26,767	103	0.39
小 浜 市	11,313	53	0.47
大 野 市	10,740	△ 23	△ 0.21
勝 山 市	7,640	△ 1	△ 0.01
鯖 江 市	23,113	375	1.65
あ わ ら 市	9,776	98	1.01
越 前 市	28,590	624	2.23
坂 井 市	30,031	300	1.01
永 平 寺 町	7,313	16	0.22
池 田 町	873	△ 14	△ 1.58
南 越 前 町	3,337	△ 20	△ 0.60
越 前 町	6,509	△ 36	△ 0.55
美 浜 町	3,866	△ 14	△ 0.36
高 浜 町	4,248	28	0.66
お お い 町	3,194	△ 12	△ 0.37
若 狭 町	4,807	△ 42	△ 0.87

図 19 市町別 1 世帯あたり人員

